

大島農業就業体験 参加申込書

開催日：令和8年9月18日(金)～9月21日(月)

記入日： 年 月 日

ふりがな				写真貼付 ・3カ月以内に撮影したもの ・縦 36～40mm ・横 24～30mm ・上半身正面のもの ・写真の裏面に氏名を記入
氏名				
生年月日	年	月	日生(満 歳)	
住所	〒 -			
電話 携帯電話など日中連絡がとれる電話番号	*記載内容についてご質問する場合があります。都合の良い時間帯があれば右記にご記入ください。(連絡希望時間： 時～ 時頃)			
FAX		E-mail	@	
配偶者	<input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し	子ども	<input type="checkbox"/> 有り()人 <input type="checkbox"/> 無し	
現在の職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 契約・派遣社員 <input type="checkbox"/> パート・アルバイト <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 離職中 <input type="checkbox"/> その他()	学歴	年 月 卒業 中 退 卒業見込	
趣味		職歴	年 月	
視力(矯正後)	右() 左()		年 月	
矯正の有無	<input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> コンタクト <input type="checkbox"/> 矯正なし		年 月	
所有している免許	<input type="checkbox"/> 自動車免許(マニュアル車運転可能・AT車限定) *いずれかに○をつけてください <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 所有している免許はない			
農業経験の有無	<input type="checkbox"/> 農業の経験がある(アルバイト含む) <input type="checkbox"/> 農業就業体験等の経験がある <input type="checkbox"/> 経験なし *経験したことがある人は、その内容を具体的にお書きください。			
大島への移住意向	<input type="checkbox"/> 大島へ移住したい <input type="checkbox"/> 体験してから考えたい <input type="checkbox"/> 決めていない・わからない <input type="checkbox"/> その他()			
今回の就業体験への参加理由	*参加にあたっての意気込み、自己PRなどを教えてください			
就業する場合の就業先の希望	<input type="checkbox"/> 就業できるならどこでも良い <input type="checkbox"/> 大島が良い <input type="checkbox"/> 離島ならどこでも良い <input type="checkbox"/> 伊豆・小笠原諸島ならどこでも良い <input type="checkbox"/> 現在の居住地周辺が良い <input type="checkbox"/> その他の希望() <input type="checkbox"/> 決めていない・わからない			
今回の就業体験情報をどこで知りましたか	<input type="checkbox"/> 東京都島しょ振興公社、大島からの紹介またはHP <input type="checkbox"/> 農業求人サイト「農家のおしごとナビ」 <input type="checkbox"/> その他のサイト() <input type="checkbox"/> 知人、学校の先生などの紹介 <input type="checkbox"/> その他()			
その他	*ご意見・ご質問などがあればお書きください。			

個人情報の取り扱いについて | お預かりした個人情報は、公益財団法人東京都島しょ振興公社及び当業務の事務局からのご連絡にのみ使用します。ご本人の承諾なしに第三者(委託先を除く)に提供することはありません。

問合せ

公益財団法人東京都島しょ振興公社 業務課 梅田
TEL 03-5472-6546 <https://www.tokyoislands-net.jp/>

申込先

郵送 〒105-0022 東京都港区海岸1-4-15 島嶼会館2階
FAX 03-5472-6547 (FAXの場合別途顔写真を郵送またはメールで送付してください)
E-mail kousya-g@tokyoislands-net.jp

申込締切

令和8年7月24日(金) 正午必着

面接日(2次選考)

令和8年8月4日(火) 14:00 オンラインもしくは港区区内にて ※1次選考合格者のみ

参加者確定

令和8年8月6日(木) までにメールにてご連絡いたします。



そんな方必見!

3泊4日

大島農業就業体験

大島で島の農業に携わる仕事が体験できる4日間

令和8年9月18日(金)～21日(月)

参加者募集中!

申込締切

7月24日(金)

正午必着

参加費
無料

東京の離島・大島で、農ある暮らしに触れてみませんか?

3泊4日で体験する、島の農業と人々の暮らし。

「農家を目指したい」

「土に触れる仕事が好き」

「自然の中で働きたい」

そんな想いを抱くあなたにぴったりの農業体験プログラムを開催します!



体験内容

センリョウ、バナナなどの農業体験(予定)

*プログラムは変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。

日程

内容

9月18日(金)

・集合(場所:大島船客待合所)
・オリエンテーション、座学
・島内のご案内、農場見学

9月19日(土)

・農業体験

9月20日(日)

・農業体験

9月21日(月)

・意見交換、解散(場所:大島)

農業を体験し、島を知る4日間。



人々の豊かな暮らしと発展のために。
この自然豊かな大島で、
あなたも農家を目指してみませんか。

概要

開催日	令和8年9月18日(金)～9月21日(月) 3泊4日
場所	東京都大島町(現地集合・現地解散)
対象者	真剣に農業に就業したいと考えている方(18歳未満は不可)
定員	3名程度
参加費	無料 但し、自宅から集合場所までの交通費、期間中の昼食代は各自負担。 その他期間中の宿泊費、島内での移動費、保険料は主催者で負担し、 旅行部分(宿泊手配)は京王観光株式会社での取扱いとなります。
体験内容	栽培品目:センリョウ、バナナなどの農業体験(予定) 内 容:農場・ハウス管理、収穫作業など
面接日	8月4日(火)14:00 オンラインもしくは港区区内にて ※1次選考合格者のみ

体験の様子を紹介!

[公式] 東京愛らんどチャンネル

ここが東京!?
東京を飛び出して東京へ行く!
新しいライフスタイル in 三宅島
(元就業体験参加者)



申込の流れ

- 参加申込** 裏表紙「参加申込書」にてお申し込みください
- 書類選考(1次選考)** 申込締め切り後、主催者側で実施します
- 面接(2次選考)** 8月4日(火) 14:00 オンラインもしくは港区海岸にて※1次選考合格者のみ
- 参加者確定** 8月6日(木)までにメールにてご連絡いたします
- 農業就業体験開始** 9月18日(金)～9月21日(月)

申込方法

裏面の「参加申込書」に必要事項を記入の上、(公財)東京都島しょ振興公社宛てに、郵送、E-mailのいずれかにて、お申し込みください。

申込締切

令和8年7月24日(金) 正午必着

問合せ先: 公益財団法人東京都島しょ振興公社

〒105-0022 東京都港区海岸1-4-15 島嶼会館2階
担当:梅田 TEL:03-5472-6546 FAX:03-5472-6547
E-mail:kousya-g@tokyoislands-net.jp

⚠ 注意事項

- *本農業就業体験は、農業就業に興味・関心のある方を対象に大島の農業の現場を体験することで、大島での農業就業、定住に対して理解を深めることを目的としており、レジャー目的の参加は固くお断りします。
- *天候不良等により延期・中止となる場合があります。ご了承ください。
- *開催期間中は、指導者の指示に従うと共に、許可なく作物や農具に触れないでください。
- *当日の服装・持参するもの等は、出発日1ヶ月前頃を目安に資料をお送り致します。
体験時の服装・準備物(例):汚れても良い作業着、長靴、雨具、タオルなど
- *参加にあたっては、安全に農業就業体験を実施するため、契約書をご提出いただけます。
- *渡航日前、発熱や体調不良の際は、お早めにご相談ください。

大島で農家になるためのステップ

Step 1 体験

まずは、「大島 農ある島暮らし体験」へご参加ください。

参加者募集中!

Step 2 研修

大島で就農を希望する方を対象に研修支援として、「大島町新規就農者支援研修センター」を運営しております。(事業再構築のため、現在休止中)

Step 3 農業施設整備・各種制度の相談

就農するために必要な農地やパイプハウス等施設の整備について、各種制度をご提案、就農に向けたフォローアップを行います。

Step 4 就農

就農後も様々な形で皆さんの農業を支援します。



大島について

■大島とは

東京から南に120km、総面積は90.06km²、人口は人口6,535人(令和7年3月31日現在)の、太平洋上に浮かぶ伊豆諸島最大の島です。島の真ん中に鎮座する三原山(標高758m)は御神火(ごじんか)様として島民に親しまれている活火山です。黒潮の影響により一年を通じて温暖な気候に恵まれています。

■大島へのアクセス

船では、東京・竹芝桟橋から高速ジェット船で約1時間45分、大型客船で約8時間(復路は約4時間10分)、熱海港からは、高速ジェット船で約45分です。また、飛行機では、調布飛行場から約25分(1日3往復)です。



大島町の農業概要

大島の農業は明治から現在まで、大きく4期に分けられます。

① 第1期: 肉牛生産

[明治元年(1867)～明治30年(1897)]
文明開化により畜肉の需要が高まり、価格の良い畜肉、特に肉牛の生産が盛んでした。

② 第2期: 酪農

[明治30年(1897)～]
酪農の将来性を見越して、肉牛生産から酪農への転換が行われました。農家のほとんどが小規模頭数を飼育する複合経営で、収入の大部分は酪農に頼っていました。

③ 第3期: キヌサヤエンドウ生産

[昭和25年(1950)～昭和45年(1970)]
戦後の数年間は、食料増産に明け暮れていましたが、昭和24年(1949)～25年(1950)年にかけて、農産物の生産出荷統制の廃止、緩和、作付自由化が始まりました。そんな中、キヌサヤエンドウは寒冷期の市場への入荷量がほとんどなく、高値で取引されていました。大島は冬が温暖で、京浜市場に近く、船便も良いことに着目し、露地の早採り栽培が行われました。

④ 第4期: 花卉類生産

[昭和45年(1970)～]
昭和45年(1970)を境に、キヌサヤエンドウ栽培のブームは去り、大部分の農家は

経営の建て直しを花卉類の生産に求めました。そして、次々と経営内容を転換し、花卉類の生産者・作付面積が急増しました。花卉類生産のブームはブルバディア大輪白系の導入及び開花調節技術の確立がきっかけとなりました。今では、100種類近くのさまざまな花卉類が、露地やパイプハウス・ガラス温室などで栽培され、年間を通じて島外に出荷されています。

	作付面積	農業産出額
野菜	20.5 hr	96百万円
果樹	1.9 hr	8百万円
工芸農作物	157.0 hr	31百万円
花き	26.3 hr	217百万円
合計		352百万円